

町報



とらごら



63/1

謹賀新年

第438号

発行/宮崎県東臼杵郡東郷町・編集/企画財政課 ☎69-2111

新春を迎えて

希望と活力に 満ちたまなびづくり



町長 高森 文夫

輝かしい新年を迎え心から
慶び申し上げます。

新しい年は農産物の自由化と
いう日本農業にとって真に重大
な難問に直面しながら迎えるこ
とになりました。このように世
界的自由競争の経済社会の激し
い情勢の中でありますから、本
町の行政運営も決して平坦なも
のでないことは当然覚悟の上で
なければなりません。

特に、三〇億円に近い公債費
を抱えての財政運用でありませ
んから、平坦どころか重荷を積ん
だと言って差し支えないだろう
と思います。

そこで全町民の智恵と力を結
集して、豊かな郷土づくりに邁
進したいと決意を新たにしてい
る次第であります。以下当面す
る課題について申し上げます。

国は六十三年度予算の編成に
あたり、連続してのマイナスシ
ーリングを行うと発表し、本県
においても行財政改革の推進が
至上の課題であると公表しまし
た。

本町におきましても、町民各
位の御理解のもとに財政再建の
方針を継続するとともに、増大
する行政需要や諸経費の高騰に
適時適切に対処しながら、地方
行革を推進し、漸次、財政の硬
直化を改善して効率的、弾力的な
行財政の運営に努める所存です。

農林業の振興

重点施策は何をおいても農林
業の振興であります。米の過
剰が引き続いて進行する中で、
海外からは農産物の市場開放要
求の高まり、国内では農業に対
しての財政的な制約が強まるな
ど、農業をめぐる環境はますます

す厳しくなってきたております。
農業がこのような当面する困
難を乗り越えて発展するために
は、やはり需要の動向に適切に
対応しうる生産構造を地域の実
態に即して確立することであり、
そのためには、第一に生産基盤
の整備が最も緊急を要する課題
であると思っております。

そのような見地から、事業の
促進に努めてきた坪谷川地区の
ほ場整備も、面工事について今
年度で一三〇ヘクタールの整備
をほぼ終了することとなり、畜
環事業等の制度事業によるほ場
整備も着実に進展していること
は誠に喜ばしいことで、関係の
方々に心から感謝しているこ
ろです。

子牛の価格も久々に持ち直し
ましたので、若い農業者の皆さ
んが張合いと希望をもって打ち
込めるような畜産と有機的に連
係した複合経営の農業振興を図
ります。

林業の振興であります。国
内で流通する木材の六四％が外
材という環境の中で、今後の国
産材の生きる道を求めて構想さ
れた国産材供給体制整備事業で
ありますが、耳川地域林業関係
者の大きな期待のうちに昨年十
月国産材加工工場が立派に竣工
し、操業にはいったことは、こ

の地域の林業に大きな夢と希望
を与える出来事でありました。
今後、この施設を核にして更
に関連事業の団地化にむけての
一層の取り組みをいたします。
林業基盤の整備が遅れておりま
すが、期待の熊山林道が着工し
たほか、機構改革により新たに
林政課を設けましたので、より
緊急度の高いところから作業道
林道等の開設を積極的に押し進
める所存です。

教育の充実

人づくりにつきましては、心
豊かで文化の香る町づくりをめ
ざす町の基本方針に沿って、自
然を愛し、郷土を愛する心を持
った児童・生徒に育てることを
重点に推進中です。

国家百年の計は人にあるとい
いますが、町づくりも同じく根
本は人づくりであります。

すぐれた知性とたくましい実
践力をもつ人づくりこそ新しい
時代を拓き、創造する基本であ
ると思っております。生涯教育の観
点にたつて青少年が希望と活力
を見出させるような教育の町、
東郷町を目ざさなければならま
せん。

社会福祉

次に福祉の充実であります。

今日、高齢化問題があらゆる場
面で課題になってきていることは御
承知のとおりであります。
本町においても高齢人口比率
は一九・四％と全国平均よりも
二〇年も早く、高齢化社会を迎
えている実情にあります。

高齢者の方々が「長生きをし
て良かった」と腹の底から充実
感の行き渡るような、そんな社
会づくりでなければなりません。
母子家庭、身障者の方々をも含
めた助け合いの善意にあふれた
東郷町にいたしましょう。

暮れに誕生した竹下新内閣は、
ふるさと創生を国政の柱にする
ことを発表しました。ふるさと
づくりは、まさに地方行政その
ものであるわけで、町が県下の
町村にさきがけて新しく取り組
むことにした「リフレッシュふ
るさと推進モデル事業」もその
意味では新しい年のホープであ
りましょう。

いつも申していることですが、
「老いたる人には憩いと充実を」
「働く人には生き甲斐と張り合
いを」「青少年には希望と活力
を」
そんな町づくりをめざし、今年
も精一杯頑張ります。

年の始めにあたり、町民皆様
の御多幸をお祈りして御挨拶と
いたします。

議会の機能を発揮しよう

議長

橋口 昭夫



昭和六十三年の新春を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。町
民の皆様には、御健康ですばら
しい年でありませうと、年
始めに当りお祈り申し上げます。
顧りみますと、国政に於いて
は国民の大きな関心事でありま
した、中曽根内閣から竹下内閣
へと政権の交替が円満に行われ
また特に国際社会に於いては、レ
ーガン米国大統領とゴルバチョ
フソ連共産党書記長との間で、
INF全廃条約に調印がなされ、
この全廃条約の実現によって、
削減される核兵器が全体の四〇
に過ぎないとは言え、この持つ
意義は極めて重要なものがある
と思われま。

私共は人類の恒久的平和実現
のため、両国の相互信頼の拡大
を望むものであります。
また、時を同じくして韓国で

は平和的手段による大統領の選
出がなされ、六十三年は平和へ
の希望が持たれる年になるので
あらうと、前途に明るい光がみ
える思いがします。反面、我が
国に対し諸外国からの貿易不均
衡による不満、急激な円高の進
行、農産物の市場開放、自由化
要求の強化は、我が国の農業施
策上への対応が求められ、国家
国民の存続に関する重要な問題
であります。

また、日本の農政の根幹であ
り強力な政治力を求められてお
ります。
このように、内外共に厳しい
時代にこそ正しい判断と、適確
な行政執行が求められると思
います。昨年を振り返ってみま
すとき、本町に於いては、かねて
から計画がなされた国産材加
工施設も、年間を通じ、原材料
消費能力三万㎡を処理できる加
工場が完成しました。また、六
十二年度から、広域基幹林道熊
山線が東郷町切瀬を起点として、
県道山陰都農線に接続する一九
七〇mの林道開設に着手した
ことは八七％が山林である本町
林業にとつては基盤整備につな
がり、活性化への期待が持たれ

るものであり、関係者のご尽力
に心からの敬意を表するもので
あります。七月八月の低温と多
雨、九月の台風などの被害によ
り近年にない水稲の減収、野菜
の不作と一時的とはいへ、生活
への影響が心配されるものであ
り、行政の十分な対応が求めら
れるものであります。
議会も八月に正副議長と常任
委員長の交替がなされ、新しい

人間性の回復をめざして

教育長

渡辺 邦彦



明けましておめでとうございま
す。年頭にあたり、ご家庭のご繁
栄を心からお祈り申し上げます。

新年を迎えますと、毎年のこ
とながら、一年間の月日の経つ
のは実に速いということをしみ
じみ感じ、また身のひきしまる
思いがします。
さて、最近では諸所方で「二

十一世紀に向けて私達はどうか対
応していかねばならないか」と
いうことが論議されています。
とくに教育界においては、この
ことが国全体の問題としてとり
あげられ、昭和五十九年九月、
内閣総理大臣から臨時教育審議
会に対して、「わが国における
社会の変化及び文化の発展に対
応する教育の実現を期して、各
般にわたる施策に関し必要な改
革を図るための基本的方策につ
いて」の諮問をしました。

それを受けて、審議会ではお
よそ三ヶ年にわたり真剣な検討
がなされて、四回にわたって答
申が出されました。すなわち、
「日本の教育は二十一世紀に向
なければならぬか」という大

変重要な提言がなされたのであ
ります。

このことは、皆さんも新聞や
テレビでご覧いただいたかと思
います。わが国は明治以来、一
〇〇年にわたって、その時代に
対応した教育が関係者の努力に
よって進められ、その成果もあ
がり、今日の文明大国、経済大
国に成長しました。

しかし、現在の国内、世界の
状況の中で冷静に評価、反省す
る時、いろいろな課題が出てき
ました。と、申しますのは、日
本人と人類がこれまで経験した
ことのない新しい国際化、情報
化、成熟化の時代に向かうとい
う大きな転換期にさしかかって
いることです。

来るべき二十一世紀時代は、
人類文明のあり方と人間の生き
方を問い直し、さまざまな文化
の一層の発展と人間性の回復を
強く求める時代と言えましよう。
こうした時代の要請にこたえ
ていく上で、教育の社会的責任
と使命は一層重要になってくる
と存じます。

このことを十分に自覚して私
どもは、なお一層、町民のみな
さんの理解と協力を戴きながら
努力したいと存じます。
本年もどうぞよろしくお願
いたします。



▲チャーンが5羽

沖縄県産の鶏「チャーン」が、福瀬の直野房則さんの手により元気に育っています。

このチャーンは、61年の産業祭の時に、沖縄県の宜野湾市から町へつがい贈られてきたもので、現在は、5羽に増えているということです。

▼郷土芸能を披露

12月13日、10時から「東臼杵郡子ども会郷土芸能発表大会」が開催されました。

当日は、郡内9ヶ町村の子ども会が参加し、団七おどり（北川町・諸塚村）、入下神社の子ども神楽（北郷村）、庵川ばんば（門川町）など郷土芸能を披露しました。



東臼杵郡子ども会郷土芸能発表大会

▲牧水ヶ丘まつり

第二回牧水ヶ丘まつりが十一月十四日、坪谷小学校牧水ヶ丘歌碑前で行われました。この牧水ヶ丘は、牧水生誕百年を記念して整備されたもので、当日は、全校児童が参加して、短歌の発表、朗詠などが行われました。



▶一日園長

十一月二十六日、山陰保育園（法人）で「一日園長」が行われました。一日園長に委嘱されたのは、町議会の佐藤輝夫さんで、保育園の実情を知っていたことがとうと行われたものです。



▲宮崎県社会福祉大会で表彰

第三十七回宮崎県社会福祉大会が、十一月十三日宮崎市公会館で行われ、自助努力者として小野田の甲斐妙子さん、鶴野内の鈴原恭さんが県社会福祉協議会長より表彰を受けました。また共同募金優良地区として迫野内区、と小野田区が県共同募金会長より表彰を受けました。



今年辰年

今年のえと（干支）は十二支の第五「辰」年です。辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。念のため、辞典を見ると、辰は竜として載っており、「からだは大蛇に似て、二本のつのと四本の足をもち、雲をおこし雨をよぶ」という、想像上の動物」とあります。日本では、竜は水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に雨ごいをする風習が各地にあります。「辰」年生まれの方々に、一言ずつ今年の抱負を語っていただきました。



河野友和
八重原区
昭和51年生



田代玲子
寺迫区
昭和51年生



高尾久美子
福瀬区
昭和51年生



矢野理奈
坪谷区
昭和51年生



橋口典子
寺迫区
昭和51年生



水野藤雄
仲深区
昭和15年生



甲斐豊
下渡川区
昭和39年生



寺田ミツル
鶴野内区
昭和15年生



井上尚之
小野田区
昭和27年生

「竜は地べたをはいづり回っていてもきつと頭をもち上げ金の玉を喰わえる」という話を聞いた。今年辰年。きびしい世相だけ竜にあやかっって良い年になる様努力したい。家族の健康を願って。

ただいま青春まつ盛り。去年は仕事の面で小さな区切りができた。今年辰年男でもあるので、私生活面でも、理想の女性に逢えれば最高の年と思う。ますます頑張ろう。

結婚して生活や子育てに追われ、遂に四回目の干支を迎えてしまった。人生の半分が過ぎてしまった今、子供達にも手が要らなくなったし、「主人と楽しい旅行でも」と、考えております。

体育指導員になって三年目、昨年は郡民体育大会という目標がありました。今年辰年、だれでも参加できるようなスポーツをめざし、スポーツの底辺拡大に頑張りたいと思います。

ご存知ですか 最低賃金!!

最低賃金はすべての労働者に適用されます。正社員、パート、アルバイトなどに関係なく、宮崎県の場合は、
日額 3,323円
時間給 416円
を支払わなくてはなりません。

派出所だより

110番通報からパトカー到着まで

1月10日は110番の日

今年辰年、私の中学生になる年です。中学生に向けて、勉強やスポーツにはげみ、自分を強くしていこうと思います。そして何事にも、全力をつくして、がんばりたい。

私は、去年がんばらなかつた手強い運動を今年がんばり下級生のお手本となるようになりたいです。そして、何にでも挑戦して、はりきっていききたいと思ひます。

そのあとは、受付の警察官が場所はどこですか。いつですか。けが人はいいますか。等を、順を追って聞きますから、落ちついて、正確に話しましょう。

短歌

尾鈴短歌会

この里の落葉は早し裸木に夕陽の照りて秋の日悲し

寺原 初子

植田 イセ

先生と呼ばれて応答にとまどへりおちさんとこそ呼んでほしけれ

矢野 文雄

荒砂 金義

元気がとサンズの入りに追われいる友が夜更けに電話して来ぬ
日本海に陽の沈みゆく入道崎男
鹿半島の岬旅ゆく

本多 茂雄

点描 (75)

地区を訪ねて

④ 八重原

八重原は藩政時代大字八重原追野内と称して、庄屋が八重原にいて、田代目付のもとで統治されてきました。明治になって八重原と追野内とに区制が分れました。

八重原は戸数五十余、人口二百二十余人で、他区に比べると小さな区となっています。

大変日当りのよい所で、人家は国道沿いに並び、上道沿いにも並び、中央に道路があり、東西に往来出来る様になっています。村の中央に八重原神社即ちお天とさまが鎮座されています。



国道下に耳川が水量豊かに流れ、旧八重原橋、新八重原橋の二本の永久橋があり、眺望極めてよいところであります。

昔、お天とさまが賑やかな頃は渡し舟でたくさんのお参り人を渡していたものでしたが、百万円道路が出来て、世の中が便利になって来て、お天とさまも淋しくなりました。だが何んとかして田代の御田祭りの様に盛んにしたいものだと思います。

八重原は公民館活動の盛んなところですが、中でも他の区では見られない壮年会と言う組織が、明治時代より現在まで続いています。引き継箱が今も現存しています。実践事項は区内の葬式時には一切の仕事を壮年会にて済ませる。役場手続、お寺の事葬儀関係一切を、次に区内美化作業アキカン拾い、ゴミ集め事、毎月一回午後五時から六時頃より実施、ゴミ、アキカン集拾場所の施設も作っている。公民館国旗掲揚台も設置したとのこと。石油ストーブも公民館に寄付している。この国旗掲揚のしごとは祝祭日に老人クラブが担当しているとのこと。老人クラブは水神様の祭りの餅まきがきれいに出来る様にしているそうです。婦人会は年間四回、八重原神社と墓地清掃に奉仕活動をして

いるとのことですが、数少い青年も共同して区の内板を作ったり、今年の祭りには子供みこしの手伝いもすることです。

町主催のスポーツ行事で八重原婦人部の優秀な活躍ぶりは、町民の齊しく賞さんしているところですが、消防にしても少い部員で常に秀れた成績をとっていることは、常日頃の公民館活動を通しての一致団結の賜と言っ

若山牧水

牧水の小説

古い村 (五)
塩月儀市

暫く見つめて居るうち、一尾の魚が彼の針にかかったらしい。彼は忽ち姿勢をくづして腰から小さな手綱を抜きとり、竿を撓ませて身近く魚を引き寄せ、終に首尾よく網の中に収めて了った。

そして、彼はそれを静かにのぞき込んで居る。あ、その無心の顔、自分は自分の臉の急に重くなるを感じた。

一尾を釣り得て彼は少なからず安堵したらしく、竿をば石の

てよいでしょう。農地は国道と耳川との間に相当な面積の田畑を有するも、可働力と資金稼ぎの問題点よりして、專業の実績は見られないと思えます。野菜類については熱心な農家があり、農協出荷に実績をあげている者もいます。

まだ八重原に行ったことのない人は是非訪ねて見て下さい。

東郷町文化協会長 都 甲 鶴 男

間に突き立て、おいて、岩の上にしやがんだ両手で腰を支えて茫然と光る瀬の水を凝視している自分との間は十間と距っていない。けれども稷の根もとの岩蔭の自分は彼の眼には入り難い。余程起き出でて彼を呼ぼうかとも思ったが、彼の姿を見ては何とも言えぬ一種の圧迫を感じて急に声をも出したい。自分は終に黙っていた。

やがて彼はまた立ち上った。少し所を変えて再び竿を動かしている所へ、その背後の方からまた一人竿を持っている人が来た。伝造である。彼等父子は顔を見合つてにっこりした。そして無言のま、竿を並べて瀬に對つた。

自分は久しいこと岩蔭の冷たいところへ寝ていなくてはなら

なかった。その翌年の夏、自分がまた村に帰った時には初太郎は死んでいた。

或日わざ／＼前年彼を見た稷の蔭に行つて見た。同じく晴れた日で、風は冴え瀬は光っていたけれども、既にその時は如何に力めても、其処の岩上に佇みし彼な曾て自分同様に此所等に生息していた彼、及び現に空冥界を異にしている彼を切実に思い浮べることが出来なかった。彼は死んだ、彼は死んだと徒らに思ったのみで。

不幸は静かな瀬面に石を投げたようなものであろう。一点から起つて次第に四辺に同じ波紋を拡げて行く。初太郎の死後幾日ならずして彼の父ははくちのことから仲間を傷つけ、牢屋に送られたのみならず、その入獄の際には彼は烈しい眼病をわずらっていたとのことである。

これらの話をする時は、さすがにわが母も笑わなかった。自分の家でも父の手を出していた二三の鉱山業がいよいよ失敗と定まったので、また近々に大決断で残部の山や畑を売却せねばならぬことになつていたのである。万事につけ父も母ももう人の悪口を言つたり笑つたりしている余裕などはかりそめにも失くなくなつていたのだ。自然無言勝ちになつた父母の顔には汚い白髪が、けばけばしく眼に立つて来た。

健康余話

23 前立腺肥大

東郷病院院長 鈴木俊一

皆様、明けましておめでとございます。年末より年始にかけて、血中アルコール濃度の増加した方も多くと存じます。しばらくは休肝日になさって、肝臓を休めてください。

今回は男性だけの疾患、良性前立腺肥大について述べることにします。

前立腺は男性にしかありません。膀胱に隣接して存在し、尿道をとりまくようになっていて、肥大化すると尿がでにくく、肥大化すると尿がでにくいという症状がおこります。群馬大学の統計では卒歳以上の男性の三〇四％に認められております。ゆっくり肥大化していくため症状がでてくるのは卒歳前後になります。はじめは尿道会陰部、下腹部の不快感、便所になつて尿がでてくるまで時間がかかるとか、尿がチヨロチヨロとしかでなくなりません。夜三回以上排尿する場合もこれを疑わせます。さらに排尿困難が増強

し、残尿が認められるようになり、よく膀胱炎を起こします。酒をのんだり、寒くなったり、過労におちいると尿がでなくなつてしまふ尿閉の状態になります。

さらに悪化すると排尿痛、少量の尿が持続的に排尿される奇異性尿失禁の状態になります。水腎症をおこしてしまふ人もあります。

昨年、椎葉村立病院に勤務しておりましたが、昨年正月の三日に八十代の男性が下腹痛を訴えて来院されました。お腹を見ますと恥骨から臍の付近にかけ大きな腫瘍が認められ、おさえるといたがられました。導尿すると千四百ccの尿がでてきて、腹痛もうそのようにおさまりました。よく聞いてみますと、元旦から焼酎を飲みつづけて二日目から尿がでず(尿閉)三日目から失禁状態になったとのことでした。この方は点滴をして、腎不全状態を脱した状態となつて、他院でTUR(内視鏡下に手術を行う方法)をしていただき

て元気に生活されています。この方の場合、飲酒が誘因となり急性尿閉をきたしたわけですが、この他に便秘、長旅、薬物が誘因として働くことがあります。アダルトビデオを御覧にな

つて尿閉をきたした方もあります。

東郷町に赴任してから半年で三名の方が良性前立腺肥大でいらつしやいました。最初の一人は七五歳の方で尿道にドルーカテールを入れたままです。これをぬきますと尿閉がくることになり、現に数回、夜間にいらつしています。次の一人は七歳の方で腎盂炎で元度あまりの発熱がみられ、入院されました。入院時夜に何度も排尿のためにおきられ不眠をうたえられたっており、他院に紹介、TURをうけられ

て、現在、排尿に関しての訴えはありません。最後の一人は症状が軽いため、別の病気で入院しホルモン注射を行つて症状の軽減をはかりました。

良性の前立腺肥大は夜間の頻尿、特に寒い冬では大変な苦痛となります。便所に立つても、出はじめるまでに時間がかかり排尿がおわるまでの時間もびるようになります。さらに進行すると残尿感が出現します。尿閉を経験しなかつた方では排尿困難がなくなり絶えず尿が出る尿失禁を訴えてこられる方もあります。述べました症状のみられる方は町立病院の方で御相談ください。

この制度は、次代を担う児童の健全育成、資質の向上を図ることを目的として、昭和六十三年四月一日から次のように制度が変更されます。

この手当は、申請によって受給資格が生まれますので、新しく該当する人は忘れずに申請してください。

(改正後の受給資格)

①二人以上の児童を養育している人で第二子以降が小学校就学前の児童に対して、月額第二子二、五〇〇円、第三子以降一人五〇〇〇円を、六月、十月、二月にその前月までの四カ月分が支給されます。

| (支給例) | | ● 2,500円 ● 5,000円 | | | | | | | |
|-------|--------|-------------------|--------|----|--------|--------|--------|--------|------|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 歳 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 小学校 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 就学前 |
| 0円 | 2,500円 | 2,500円 | 2,500円 | 0円 | 5,000円 | 7,500円 | 7,500円 | 7,500円 | 支給額 |

なお、制度改正にともない、昭和六十三年度からは、小学生以上の児童に対する手当はなくなりません。詳しくは、役場住民課へお問い合わせください。

おわび

六十二年十二月号で農業委員会委員選挙人名簿登録申請書の六十三年度の提出期限は一月十一日とありましたが一月十日の誤りでした。



幼稚園児の募集

東郷・坪谷・寺迫の各幼稚園の園児を次のとおり募集しますので、希望者は町教育委員会事務局にお申し込みください。

一、入園資格

町内の通園可能な地区に居住する満四歳と満五歳の幼児(昭和五十七年四月二日から昭和五十九年四月一日生)、ただし、坪谷幼稚園については五歳児のみ募集します。

二、入園申し込み

入園申し込み書は、教育委員会事務局、及び各幼稚園に準備してあります。

三、入園申し込み締切日

昭和六十三年二月二十日

四、入園決定

三月中旬まで各人宛通知します。

固定資産

(土地・家屋)の現況届けは早めに

固定資産税については、毎年一月一日を賦課期日として課税します。

したがって、納税代理人の変更、家屋の異動(所有権、取り壊し、新・増改築)、土地の異動(例えば、台帳上は田であるが、現況は原野である)のある方は届け出をしてください。

この一月一日現在の現況が、昭和六十三年度の固定資産税の基礎となります。

届け出の用紙が税務課に準備してありますので、所定事項を記入のうえ一月末日までに届け出てください。

詳しくは、役場税務課固定資産係へ。

職業病の

無料健康相談

じん肺とはくろう病(振動病)などの職業病にかかっている人あるいはその疑いのある人を対象とした、無料健康相談が次の日程で行われます。お気軽にご相談ください。

▼日時 昭和63年1月10日

9時~16時

▼場所 日向市健康管理センター

通信制訓練

受講の案内

一級技能士課程

○訓練課 機械加工科、仕上科
板金科、配管科、機械製図科、建築大工科

二級技能士課程

○訓練課 一級課程のほかに鑄造科、鉄工科、印刷科など

▼受講資格 実務経験があればどなたでも受講できます。

▼特典 終了者には、技能検定の学科試験が免除されます。

▼受講料 一級八、〇〇〇円

二級六、〇〇〇円

▼問合せ先 延岡市技能開発センター

☎〇九八二一三七七〇七九九

心配ごと相談

及び行政相談

▼日時 1月19日 9時~15時

(毎月第三火曜日)

▼場所 老人福祉館

自衛隊員の募集

▼応募内容 二等陸海空士

▼応募資格 18歳以上25歳未満

の健康な男子

▼待遇 身分は特別国家公務員

▼問合せ 自衛隊日向募集事務所

☎五二一六四一四

一月の行事

4日○成人式 10時から町中央公民館

○新春たこ上げ大会(町子連主催) 13時30分から東郷橋下河川敷

5日○消防出初式 7時40分

ら町総合グラウンド

6日○牧水かるた大会 13時

ら町中央公民館

12~15日○新春書初展 町中央公民館

24日○牧水ロードレース大会 9時から

今月の納税等

町県民税 四期

国民健康保険税 八期



忌明けとしてつきのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎坪谷の矢野国明さんから

(正雄さん・86歳ご死去)

◎坪谷の山本一正さんから

(一太郎さん・90歳ご死去)

戸籍だよ

(十一月届出分)

出生 おめでと

| | | |
|--------|-----|-----|
| 赤ちゃんの名 | 父の名 | 住所 |
| 赤ちゃん | 律生 | 坪谷 |
| 三浦寿人 | 幸典 | 鶴野内 |
| 草留優美 | 節男 | 八重原 |
| 山本康代 | 忠 | 寺迫 |
| 高野典子 | | |

結婚 お幸せに

| | |
|-------|-----|
| 氏名 | 住所 |
| 長渡耕二 | 福瀬 |
| 黒木文子 | 日向市 |
| 寺原克幸 | 日向市 |
| 寺原はるみ | 八重原 |
| 三浦力蔵 | 仲深 |
| 川村恵子 | 日向市 |

死亡 ご冥福を祈ります

| | | |
|------|-----|-----|
| 氏名 | 年齢 | 住所 |
| 岡田照美 | 60歳 | 福瀬 |
| 渦元松衛 | 82歳 | 鶴野内 |
| 岩本ケサ | 83歳 | 福瀬 |
| 矢野正雄 | 86歳 | 坪谷 |